



第12号

千町田

新代表理事

新任あいさつ



代表理事
山本 耕一

長したのきの郷をお引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。

くりに環境を作り上げていく』などの目標を掲げ、より一層強固な農業経営基盤を構築し次世代へとバトンが渡せる事業展開をしていく所存です。

(農)のきの郷 組織体制改訂

今期より事業活動をより円滑に運営し専門部会の業務内容および中期的な事業計画が遂行できるように組織体制が見直され通常総会にて承認されました。

2月に行われた(農)のきの郷第2期通常総会に於いて、新役員理事ならびに組合員の皆様の総意を得て代表理事の大役をおおせつかることになりました。任意組合および法人移行後の前任代表者の方々が粉骨砕身され、ここまで成

さにさらされると同時に農政改革への対応責任の厳しさが身に染みることとなりました。農業を取り巻く環境はますます変化していきます。これをチャンス到来ととらえ将来に夢を持てるのきの郷へと発展することを祈念いたしますとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。

よく言い当てています。外仕事に汗を流していたのに今日はまた寒い日になるといった具合です。私事この度の通常総会において任期満了となり、役員改選にあたり理事を退任することになりました。永い間公私にわたって皆様方より温かいご指導ご厚情を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。ここに謹んで厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

今期より事業活動をより円滑に運営し専門部会の業務内容および中期的な事業計画が遂行できるように組織体制が見直され通常総会にて承認されました。

理事退任あいさつ



前代表理事
仲井 邦義

私は40年近く建設業に係っており、景気変動に左右されながら経営に携わっていましたが、この2年間は農業を事業とする経営に係ることが初めてでもあり不安に感じていました。

春まだ浅く三寒四温と昔の人は

今期より事業活動をより円滑に運営し専門部会の業務内容および中期的な事業計画が遂行できるように組織体制が見直され通常総会にて承認されました。

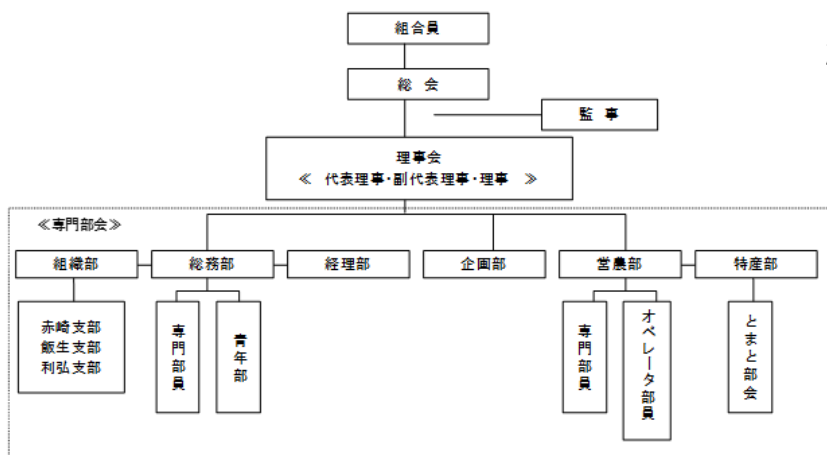


前副代表理事
原 昭夫

2年だけではありませんでしたが、農業特有の天候など自然条件の厳し

今期より事業活動をより円滑に運営し専門部会の業務内容および中期的な事業計画が遂行できるように組織体制が見直され通常総会にて承認されました。

今期より事業活動をより円滑に運営し専門部会の業務内容および中期的な事業計画が遂行できるように組織体制が見直され通常総会にて承認されました。



平成26年 実績報告

平成26年の出役状況、収穫実績を報告します。平成25年度に比べると出役人数が23%減となっております。各作業において皆様のご協力をお願いいたします。

出役人数	144名
平均出役時間	136時間
60日以上従事者	25名
年間延べ労働時間	19,575時間

とまと 品種	製品収穫量	製品比率
レッドボーイ	780kg	62%
フルティカ	1,154kg	80%

作物名	品種名	収量/10a
うるち米	コシヒカリ	7.4俵
	きぬむすめ	7.5俵
	つや姫	8.2俵
	にこまる	7.7俵
飼料用米	みほひかり	7.7俵
大豆	サチユタカ	185kg
麦	農林61号	214kg
菜種	ななしきぶ	33kg

青年部総会開催

3月1日青年部総会が開催され18人の参加がありました。今後の取組みなどお話し合いと話を進め、将来の展望などを熱く語られる一幕もあつたようです。
 昨年はきてごしない祭りや草刈りなどに精力的に協力いただきました。今年も変わらず対応いただくこととなります。



平成27年春作業予定

春作業の予定が下記のように出ています。各支部よりそれぞれ招集がかかると思いますので作業にご協力いただきますようお願いいたします。

作業	予定日
鉄コーティング	3月27日、28日
緑化苗引取り	4月13日以降
種まき	4月19日
直播、移植	4月27日より約10日間

なたねちゃんフェスタ開催

今年は期間を設け期間中は自由に圃場内に入ってお花見したり写真を撮るなどしていただけます。フォトコンテストも合わせて開催します。素敵な一枚をお待ちしています。フェスタメインターには屋台などお楽しみも準備しています。お誘い合せお出掛け下さい。詳しくはチラシをご覧ください。

期間：4月12日～26日
 メインター：4月18日(土)

11時～13時30分



保有米・縁故米申込み

平成27年産の保有米・縁故米の申込書を配布いたします。4月中旬に申込みいただきますようお願いいたします。今年の対象品種はコシヒカリ、きぬむすめ、つや姫、にこまる、もち米ハクトモチとなります。

お悔やみ申し上げます

飯生町 坂田 修一 殿

ちよっこし聞いて

季節はめぐり、また春がやってきました。幼いころの農作業が始まると子供ながらに忙しくまた浮き立つような気持ちになったものです。まだ田植えが手植えの頃、兄と一緒に田んぼに出て競争しながら苗を植えたことが今でも懐かしく思い出されます。今は、大型田植機であつたという間に一町田んぼの田植えが終わつてしまつたのですが、先人たちの苦労はいかほどだったかと思わずにはおれません。時代は進歩していますが、でも、根底にある安全で美味しい作物を作るといふ気持ちはそのままにしていきたいです。(女)